

ハイブリッド
開催

鳥獣害対策の今

イノシシやアライグマなどによる農作物被害は糸島市全域でも深刻化しています。

先進的な鳥獣害対策で注目の、中国山地の山間にある島根県美郷町から、麻布大学の江口先生と美郷町の安田課長にお越しいただき、どのような対策をされているかなどお話しいただきます。

開催日時 2025 年 5 月 17 日(土) 13:00 開演
(12:40 受付開始)

参加費無料・事前申込必要(5月15日(木)まで)

会場

九州大学 伊都キャンパス 福岡市西区元岡 744
ウエスト5号館 東棟2階 大講義室(232号室)

第1部 講演

『動物と人の目線で考える被害対策』

野生動物による農作物被害を減少させるために必要な「動物目線」と、「ヒト目線」によって陥る間違った被害対策を、野生動物と人の行動を紹介しながら説明する。また、捕獲に依存しない総合対策(環境管理、農地への侵入防止、適切な捕獲)と地域づくりの相性の良さを紹介する。

麻布大学 生命・環境科学部 フィールドワークセンター

教授 江口 祐輔 氏

第2部 講演

『獣害対策の今と昔～おおち山くじら物語 26年の歩みから～』

島根県美郷町役場 課長 安田 亮 氏



第3部 パネルディスカッション

コーディネーター:大槻 恭一 氏(九州大学 名誉教授・OPACK 研究主幹)

パネリスト :江口 祐輔 氏(麻布大学 生命・環境科学部 教授)

安田 亮 氏(島根県美郷町役場 課長)

江口 政継 氏(株式会社 tracks 代表 兼 猟師)

増田 耕一郎 氏(糸島市鳥獣害防止対策協議会 会長)

アグリコラボいとしま HP(イベント)



アカウント登録後、イベント詳細よりお申込下さい。(ご登録いただきますと次回から参加申込みが簡単にできます。)

参加・申込方法

参加方法 : 現地会場(100名程度)またはオンライン視聴(Zoom)

Zoom 参加者には、後日視聴のための URL を送信します。

申込方法 : 右上のQRコードを読み取り、アカウント登録後お申込み下さい。

すでにアカウント登録をされている方は、ログイン後参加申込み下さい。

QRコードをお使いいただけない場合は、下記連絡先まで、氏名・連絡先(TEL・FAX・メールアドレス)・参加方法をお知らせ下さい。FAXでお申し込みいただく場合は裏面の「参加申込書」をご利用下さい。

アグリコラボいとしま事務局

TEL:092-802-4700 FAX:092-802-4541 E-mail:ito-office@agr.kyushu-u.ac.jp

プログラム

アグリコラボいとしま 総会記念講演会

鳥獣害対策の今

13:00 開会あいさつ

13:05 第1部 講演『動物と人の目線で考える被害対策』

麻布大学 生命・環境科学部 フィールドワークセンター
教授 江口 祐輔 氏



14:05 休憩(5分)

14:10 第2部 講演『獣害対策の今と昔

～おおち山くじら物語 26年の歩みから～』

島根県美郷町役場 課長 安田 亮 氏



15:10 休憩(10分)

15:20 第3部 パネルディスカッション

コーディネーター:大槻 恭一 氏(九州大学 名誉教授・OPACK 研究主幹)

パネリスト :江口 祐輔 氏(麻布大学 生命・環境科学部 教授)

安田 亮 氏(島根県美郷町役場 課長)

江口 政継 氏(株式会社 tracks 代表 兼 猟師)

増田 耕一郎 氏(糸島市鳥獣害防止対策協議会 会長)

16:50 その他・鳥獣被害対策システムについてご紹介

17:00 閉会あいさつ

参加申込書(お申込み期限:5月15日(木))

FAX送付先:092-802-4541

ふりがな	
氏 名	
連 絡 先	TEL: FAX: E-mail: ※オンライン視聴の方は、必ずメールアドレスをご記入下さい。
参 加 方 法 ※いずれかに○をご記入下さい。	① 現地会場 ② オンライン視聴(Zoom)
備考	

※ご記入いただきました個人情報は、このイベントに関わる目的のみに使用し、他の目的には使用いたしません。

糸島農業産学官連携推進協議会は、平成22年3月設立以来、「農業生産に係る研究及び生産現場のニーズについて」講演会やワークショップを開催、農産物の鮮度保持やブランド化、情報通信技術の活用、家畜伝染病、市場開拓、地産地消、スマート農業、土づくり、鳥獣害対策など、糸島農業の現場の課題に産学官連携のなかで取り組んできました。地域に根ざした持続可能なこれからの農業を、「まちづくり」の視点から考えます。どなたでもご参加いただけますので、皆様のご参加をお待ちしております。